

総合計画策定のための市民参加における市民意見の把握

市民意見の把握

まちづくりシンポジウム

まちづくり市民ワークショップ

子どもワークショップ

市民意識調査

企業・団体ヒアリング

庁内点検調査(現行の施策)

分析手法

無作為抽出3千人にシンポジウム参加募集、アンケートにより市民意見を把握する。

現行総合計画の6つの方向の分野別にグループに分かれ現状と課題、取組みの検討から市民意見を整理する。

小中学生の市内探検からの気づきや学びをまとめ、理想とするまちを整理し、子どもの意見として把握する。

施策評価に伴う市民意識調査から、現行各施策の満足度や重要度を分析し、市民の意向や変化を把握する。

企業・団体ヒアリングから、市内活動の課題やニーズ及び今後の協働・連携について把握する。

現行の施策に関して、取り巻く環境の変化や新たな課題について把握する。

分析結果にもとづく検討と計画への反映

分析結果の反映

- 《1. 基本構想の考え方》
継続と新たな視点
- 《2. 基本計画: 施策の方向性》
集中と選択「優先的に取り組む施策」
 - ・「新たな取り組み」
 - ・「強化が必要な取り組み」
 - ・「改善・見直しが必要な取り組み」協働と連携「役割分担の確認」
 - ・「地域内の連携」等進行管理
 - ・行政評価: 施策評価と事務事業評価のための指標について

新たな基本構想・基本計画(素案)



新たな基本構想・基本計画(原案)
・パブリックコメント
・市民説明会

《総合計画策定審議会による議論》
《庁内検討委員会及び事務局による調整》